

山に親しみ山に想う (13)

— 濟州島の寄生火山 (4) —

<文・写真> =岡本=

3. オルムの火口湖

濟州島の主峰で最高峰の漢拏山ハルラサン山頂に白鹿潭(ペックノックタン)という美しい名前の火口湖がある。火口の外周は575m、深さは100mである。雨水が溜まって出来た火口湖白鹿潭は、近年水位が下がりつつあるという。その原因は蒸発よりも漏水であると言われている。



主峰漢拏山を取り巻くオルム368座のうち9座に火口湖がある。これらの火口湖も気候、その他の環境変化の影響を受けて水位が下がり、火口湖周辺の環境、生態にも変化が起きている。9座全てを探訪はしたが、火口湖の環境、生態とかの意識もなく、観察の目を持たずにただ歩いただけであった。もし、意識を持って探訪していたならば、素人ながらもより詳しい記録をとっていただろうにと悔やまれる。今から10余年前に探訪した火口湖は現在どう変わっているだろうか。環境変化の観点から確かめたいとの思い、切である。

(1) オスンセンオルム(御乗生岳)

濟州市海岸洞 標高1169m(比高350m) 円形 2004年8月15日探訪

頂上まで御乗生岳自然学習探訪路があり、頂上には板敷きの展望台がある。火口湖に下りることは禁じられている。頂上に旧日本軍のトーチカがある。主な関心はトーチカにあって火口湖については「火口湖は周りに水草が生えたこじんまりとして美しい。」としか記していない。この時は火口湖の写真は撮っておらず、2008年1月6日に登った際に撮った。



(2) クムオルム(コムンオルム、今岳)

翰林邑今岳里 標高427m(比高178m) 円形 2004年8月28日探訪

養豚場団地の傍にあり、15分程で頂上に登り得る独立峰のオルムである。「火口湖は意外にも大きい。オスンセンオルムの火口湖よりも大きい。火口稜線は約1.2kmである。一周する。湖の周りは草地であり、トンボや蝶が飛び交う。足元から山鳥が飛び立つ。野草が可愛い。高い方の稜線に通信塔が4基ある。草地に昆虫がいるが、案外少ない。」

(3) ムルチャオルム(水城岳)

朝天邑橋来里 標高717m(比高167m) 複合形 2005年10月10日探訪

約1kmの外輪山が城(チャ)のようなところからムルチャと称するオルムである。頂上稜線には約20分で登れる。「火口湖は、稜線を少し降りたところにある。見たところ、直径70m程の丸い形である。緑色のとろりとした油のような湖面、どこまでも深い沼のような佇まいである。湖面に近づけるのは一ヶ所だけで、他は湖面に覆い被さるように樹木が水面に張り出している。神秘的である。魚がいるという。顔を洗っている人がいるのは、興ざめである。外輪を歩く。細い雑木が密生しており、かなり歩きづらい。張り出した枝に2度も額をぶっつけた。眺望の良いところからは、漢拏山が美しく見える。一周に約25分掛かる。」

(4) セミソオルム(泉味岳)

翰林邑今岳里 標高375m(比高30m) 円形 2004年10月16日探訪

比高30mの丘のようなオルム全体がキリスト教の施設である。「十字架のイエス像があり、背後にオルムの火口湖(人工的な岸が造成)がある。火口湖の西側のススキの低い丘が火口外輪の稜線である。一周して戻る。」

(5) ムルヨンアリオルム(水霊岳)

南元邑水望里 標高508m(比高128m) 円形 2006年6月10日探訪

環境庁濟州出張所により「2007年7月まで入山禁止。違反は200万ウオン(約10万円)の罰金…」となっているが、濟州出張所の了解をとって入山した。「林道は、杉造林地体を貫いて頂上の火口湖まで設置されている。…火口湖へと木道を降る。蛙の鳴き声が聞こえてくる。木道は火口湖の湖畔を約50m続くだけで、一周できるわけではない。水は殆ど溜まっておらず、湖心に約10mの丸い水溜りがあるだけで。湿地水性植物が生えており、土も見える。広さは見たところ野球場より狭そうだ。頂上稜線に薄い人跡路がある。木道を離れて一周しようとした人のものであろう。」



(6) トンスアックオルム(東水岳)

南元邑ハンナム里 標高700m(比高100m) 円形 2007年4月15日探訪

漢拏山国立公園内にある低い外輪山に囲まれた、野鳥のさえずりが騒がしいほどのオルムである。「火口湖は、球場のような広さ全体に枯れた茶色の草に覆われている。水はない。湿地と言えるほどの湿りもなく、乾ききっている。濟州島内の火口湖はどこも涸れ始めているようである。4月という時季の故なのか。梅雨の時季は湖を形成するのであろうか。」



(7) サラオルム(紗羅岳)

南元邑シルレ里 標高1325m(比高150m) 円形 2007年7月28日探訪
漢拏山国立公園内にある。漢拏山登山道を途中で離脱して入山する。「火口湖が視界に飛び込む。登山道から意外に近い。湖上をツバメが飛び交う。岸辺の浅瀬にはオタマジャクシが泳ぎ、トンボが飛ぶ。生き物の豊かな湖水である。西側の湖岸を南へ半周する。湖岸の植物を踏まないように気をつけながら、そろりそろりと歩く。約10分で南岸に至り、火口稜線への人跡路に入る。」



(8) ムルチャンオリオルム(水長兀キ岳)

濟州市奉蓋洞 標高937m(比高120m) 円形 2007年6月23日探訪
漢拏山国立公園内の島縦断道路から1時間半程入った深山にある。「頂上の火口湖は、円形でイグサのような草が湖面を埋めており、緑の湖面である。人跡路から頂上湖畔に着いたところは、草地である。湖畔を一周する人跡路を進みながら見る湖畔の佇まいは、美しい。湖面は水面が殆ど無く、緑の絨毯のようである。約20分で湖を一周できる。」



(9) ウオندانボンオルム(元堂峰)

濟州市三陽洞 標高170m(比高120m) 馬蹄形 2004年7月4日探訪
濟州市北側海岸近くに位置するオルムの門降寺寺域内にある。火口湖が寺の蓮池に利用されており、水量は豊かである。濟州抗日記念館を訪ねた帰りに偶々門降寺に立ち寄った。「門降寺に着く。大雄殿前に大きな蓮池があり、背後にオルム稜線が囲んでいる。道は寺の右側より上がる。」



(つづく)